

大学と共同による評価結果の活用

1. 事業の実施報告

(1) 実践研究のねらい

上越市教育委員会と上越教育大学、研究指定校の三者で上越市学校評価システム研究推進委員会を組織し、行政、学校、学校運営の専門家（大学教授）の協働体制により、次の3点を中心に実践研究の取組を推進するとともに、その成果等を検証・提案する。

① 学校評価結果等に基づく学校への支援・改善

学校評価システムを自校の学校評価と関連付け、学校全体として、保護者や地域との連携・協力を得ながら、伸ばそうとする特色や解決を目指す課題にかかる取組を支援する。また、学校評価結果等に基づいたカリキュラム開発や授業改善等について、学校への指導・助言や改善に向けた支援の在り方を検証・提案する。

② 学校評価結果等を学校改善に生かす教職員及び学校関係者の力量形成

学校評価結果等を効果的に学校改善につなげることができるよう、教職員及び学校関係者の資質向上を図るための、研修の在り方を検証・提案する。

③ 学校経営コンサルテーション(診断)についての提案

「ハートアイシステム」(アンケートの処理・検証)の結果、学校評価報告書、学校訪問等にかかわる情報を基に、学校経営等の診断を実施するためのシステムについて検証・提案する。

(2) 実践研究の実施状況

上越市学校評価システム研究推進委員会を組織し、教育委員会の指導主事や大学教授の指導・助言を基にして、学校体制での学校改善の実践研究を支援してきた。

上越市内の小中学校における学校評価結果を効果的に活用した学校改善を推進するために、研究協議会を実施した。「教育フォーラム」において、「学校評価を活用した授業改善の取組」として、研究指定校の3事例を発表した。その際、上越教育大学担当教官から実践事例にかかわる事前指導を受け、フォーラムにおいては信州大学の教官から指導助言を受けた。なお、実践研究指定校9校の実践を事業報告書としてまとめ、管内の全教職員に配付した。また、上越教育大学の教官から3つの中学校区の学校に対してコンサルテーション(診断)を実施した。

2. 実践研究の成果

(1) 学校評価結果等に基づく学校への支援・改善

市内の小中学校の管理職を対象とした「学校評価を活かした学校改善への取組」の研究発表会を教育フォーラムの折に実施し、学校課題を踏まえた教育内容・時期・関連性を明確にして取り組む学校づくりのモデルを示すことができた。また、学校評価システム研究推進委員の9校8実践(小・中連携の実践1)を、研修報告として冊子にまとめ、市内全小・中学校に配付することで、学校評価を活かした学校改善の取組について支援することができた。その際に、「課題を明確化し目標を共有すること」「目標達成のための方策を具体的にし、目指す子どもの姿を意識して取組こと」「組織や教育活動をマネジメントし協働性を引き出すこと」の3点から支援を行った。

(2) 学校評価結果等を学校改善に生かす教職員及び学校関係者の力量形成

学校評価結果等を効果的に学校改善につなげることができるよう、「視覚的カリキュラム」や「カリキュラムづくり」に関する教職員対象の研修や教育フォーラムでの実践発表の機会を設定することができた。学校関係者に対する学校評価の理解を深めるために学校教育課のポータルサイトで「学校関係者評価の進め方～評価委員になられた皆様のために～」のリーフレットを配信した。

(上越市教育委員会学校教育課)

<http://www.jecomite.jorne.ed.jp/contents01/hyouka/gakkoukankei sya. pdf>

(3) 学校経営コンサルテーション(診断)についての提案

3 中学校区（名立中学校区、清里中学校区、直江津東中学校区）を対象とし、学校評価に関わる支援を実施した。

中学校区における校内研修で、学校評価項目の作成や学校評価（ハートアイシステム）についての助言を受けたり、学校評価に関する基本的な考え方とその方法などについての指導を受けたりした。管理職においては学校経営の診断の機会となり、教職員にとっては、学校評価の考え方や取組について学ぶことができた。

3. 今後の取組予定

次年度の学校教育の実践上の重点説明会や市内に転入する教職員を対象とした研修会の折に、学校評価結果を活かした学校改善への取組を紹介していく。また、スクールリーダー研修会を開催し、学校課題から具体的な改善策の設定や取組について研修を深める。さらに、各学校の学校評価を活かした学校改善への取組について、教育フォーラムで実践を発表する機会を設定する予定である。

○平成22年度「学校評価・情報提供の充実・改善のための実践研究」事業報告

- 1 平成22年度「学校評価・情報提供の充実・改善のための実践研究」報告書
- 2 実践校における学校評価の取組概要
 - ・上越市立黒田小学校
 - ・上越市立飯小学校
 - ・上越市立谷浜小学校
 - ・上越市立黒川小学校
 - ・上越市立上杉小学校
 - ・上越市立宝田小学校
 - ・上越市立名立中学校
 - ・上越市立安塚中学校
 - ・上越市立中郷中学校

〇つながり、高め合う学校づくり 学校関係者評価の進め方 ～評価委員になられた皆様のために～

つながり、高め合う学校づくり

学校関係者評価の進め方
～評価委員になられた皆様のために～

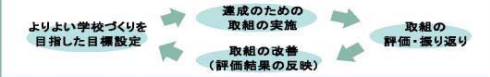
◆学校評価とは

『子どもたちがよりよい教育活動を受けられること』を目指し、『学校をよりよくする』ための活動であり、学校だけでなく保護者の皆様、地域の皆様の協力により進めていくことになります。

・学校評価は、法律で規定されており、全国の学校で実施されています。

○学校教育法 第42条 小学校は、文部科学大臣の定めるところにより当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努めなければならない。(中学校も同様)

・学校評価は、1年間を1サイクルとして行う継続的な活動です。

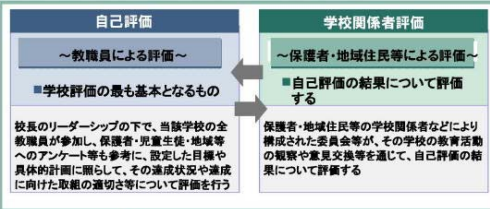


・最も重要なのは、学校評価とは、学校に点数をつけたり優劣を決めたりするために行われるのではなく、学校、保護者の皆様、地域の皆様が連携し、よりよい学校をつかっていくために実施されるということです。



◆学校評価の実施のかたち

・学校評価の実施手法には、「自己評価」と「学校関係者評価」があります。



上越市教育委員会

◆評価委員の皆様へのお願い

○学校の応援団となってください。

⇒評価委員の役割は、学校に点数をつけたり、格付けをしたりすることではありません。学校に通う子どものためになる、よりよい学校をつくるためのアドバイスをお願いします。

○地域での学校スポークスマンになってください。

⇒学校の取組のよさをぜひ地域の皆様や保護者の皆様に伝えてください。また、地域の皆様や保護者の皆様に、学校をよりよくするための協力を求めてください。

○声を出すだけでなく、手も出してください。

⇒率先して教育活動に参加し、学校を助けるなど、学校と保護者等の連携の核になってください。

○個人情報を保護してください。

⇒児童生徒の個人情報等については、守秘義務があります。

○関係者評価の結果をまとめてください。

⇒質疑応答や意見交換をして、学校の自己評価の結果を評価し、評価委員会としての意見をまとめてください。



上越市では、学校・家庭・地域との連携による学校・園づくりを目指しています。学校では、地域や学校の特色を生かし、保護者の皆様や地域の皆様の意見や要望等を反映させ、目指す子ども像やはぐみたい力を明確にした教育活動や特色ある学校づくりを推進しています。教育活動や学校運営の充実のため、保護者の皆様や地域の皆様からの一層の理解と参画が求められます。学校関係者評価委員の皆様には、よりよい学校づくりに向けた地域のネットワークの要として、学校を支援していただきたくお願いいたします。

上越市学校評価システム 上越市教育委員会 学校教育課ホームページへ
http://www.jccom1te.jornc.ed.jp/contents01/index.html

◆学校関係者評価の目的

- 学校の自己評価の客観性や信頼性を高めること
- 評価活動を通してコミュニケーションにより、保護者の皆様や地域の皆様などと学校がお互いに理解を深めること
- 学校に関係する方々が、学校と一緒になって子どものことを考え、それぞれの立場、視点から意見を出し合うことで、よりよい学校をつくること

◆評価委員会への参加のポイント

- 疑問に思ったこと、説明不足なことがあれば、どのようなことでも遠慮なく質問してください。
- 評価委員のみならず、多くの人が発言できるようにご協力をお願いします。
- 当該校や当該校の児童生徒についての具体的な意見ををお願いします。○学校をよりよくするための具体的な提言を希望します。

◆学校訪問での見どころ

- 学校の雰囲気や子どもの自覚の様子を観察しましょう。
- 学校の重点目標に沿った活動をしているのを見ましょう。
- それぞれの立場から学校を見て、もっと学校をよくすることはできないか考えましょう。

◆評価のポイント

評価委員会は、学校の自己評価が、関係者からみて納得のいくものであるかどうかについて、意見交換を行う場です。学校の自己評価について、次の点から見つけてみましょう。

- 1 学校の重点目標が、具体的にかつ明確に示されているか。
- 2 学校の重点目標の達成に向けた具体的な取組は、適切か。
- 3 学校の教職員が、協力しながら計画・実施・評価・改善を進めているか。
- 4 アンケートの結果だけでなく、授業や課題について、教職員の分析や強者がきちんと行われているか。
- 5 よりよい学校づくりのために、課題に対する学校としての改善策が提言されているか。

◆学校関係者評価を行うに当たっての考え方

- 客観性とは、納得性に近い意味をもっています。自己評価結果に現れた今後の教育活動の方向性を多くの目から見ても納得できるものにするのが重要です。
- 評価の視点を絞りましょう。学校が特に力を入れて取り組んでいる教育活動や重要課題に評価の視点を絞ることが大切です。
- 複数のプロセスやコミュニケーションが重要です。様々な経験や意見の中に、学校改善のための多くのヒントがあり、相互の理解が深まります。

学校関係者評価・自己評価の進め方のイメージ

